

2022年 在宅専門医試験結果報告

受験者数：63名（研修プログラムコース：26名、実践者コース：37名）

合格率（全体）：79.2%（研修プログラムコース：88.4%、実践者コース：72.9%）

総評：

ポートフォリオは規定の記載形式に従って作成されていたが、その内容が不十分と判断された受験生が多かった。この傾向は実践者コースの受験生により多く見られており、プログラムコースと実践者コースの合格率のギャップにつながっていた。実践者コースの受験生は、学会主催のポートフォリオ講習会に積極的に参加し、ポートフォリオ作成のポイントについて学ぶことを強く勧める。

不合格と判断された理由が多かったもの：

- ポートフォリオの内容が合格レベルに未達
 - 症例の経過記述に留まっており、思考過程が言語化されておらず、また自らが工夫した経過や結果が読み取れない。
 - 事例や学習した事柄の振り返りを行う過程において、フレームワークや論文を参考にしながら十分な考察がなされていない
 - 全て1例報告のみである
 - フォントのサイズが大きく、全体的に字数がすくない

- 面接時の質疑応答の内容が専門医レベルに未達
 - 面接時の発言において医学的妥当性を欠く内容が認められた
 - 全般的に臨床経験、知識不足が伺えた
 - 診療ガイドラインや標準的診療から逸脱した診療が見受けられた

尚、当学会では合否結果に関する個人からのお問合せには一切対応しておりません。ご理解のほどよろしくお願いいたします。